



いちについて ようい とん

教育目標:心豊かでたくましく、夢に向かって努力できる生っ子の育成

令和7年 8月 9日
平戸市立生月小学校
校長 大石 信弥

夏休みいかがお過ごしでしょうか。今年の猛暑は一段と激しく、なかなか日中に外で活動することはできなかったのではないのでしょうか。

さて、本日の登校日、長崎原爆祈念の日です。学校では、平和集会を行い、皆で平和の大切さについて考えました。

平和集会

平和集会で子どもたちにお話したことを掲載します。

みなさん、おはようございます。長崎市に原子爆弾が落とされて80回目の朝を迎えました。今日は、原子爆弾によって亡くなられた方々、また戦争によって亡くなられた多くの方々の霊を慰め、今を生きている私たちが、力を合わせて平和を作っていくこと、そして、80年前、長崎で何が起きたかということを決して忘れず、これから多くの人々に伝えていくこと強く誓う日です。

戦争や争いのない世界、つまり「平和」な社会が理想であることは、ここにいる皆さんをはじめ、すべての人が分かっていることだと思います。

ただ、現実には、とても難しいことです。今、この時も世界では戦争が起きている場所があります。私たちの身の回りをふり返ってみると、とても小さな集団である学級の中ですら、「平和」な社会を作るとは難しいことなのです。ただ、私は、争いを減らすことはできると信じています。これから、生月小学校の中で、争いを減らすために大切だと思うことを、皆さんに二つ伝えます。

一つ目は、「決まり」「ルール」を守ることです。決まりやルールはみんなが気持ちよく過ごすために決められたものです。守らない人が出てくると嫌な気持ちになる人は当然出てきます。争いをなくすためにもみんなで決まりやルールを守った生活を送りましょう。

二つ目は、終業式でも話したように「あいさつ+ニッ笑顔」「ふわふわ言葉で思いやり」です。みんなが仲良く過ごすためには大切なことです。学校で上がってくるトラブルの多くは、「悪口を言われた」「無視された」が理由としてあがっています。誰とでも笑顔であいさつを交わし、ふわふわ言葉を使ってみんなが仲良く過ごす生月小学校になってほしいと願います。

さて、最後に、長崎で生活している皆さんにお願いがあります。今日の集会をとおしてみんな考えたこと、「自分やみんなのことを大切にする」「平和のためにできることを見つけ行動する」という二つのことを心に刻み、まずは、笑顔があふれ平和がいっぱいの生月小学校をみんなで作ってあげましょう。

1945年8月9日午前11時2分。多くの方が原爆によってかけがえのない命を奪われました。亡くなられた方々の御霊安らかにという気持ちで黙祷を捧げましょう。



